

全日本民医連小児医療研究会 第10回西日本研究発表会ニュース

最終号2021年9月24日

コロナ禍でも子どもたちの権利や「生きる」支える取組を交流 オンライン開催で100名の参加で大盛況！

9/19（日）西日本小児医療研究発表会がオンラインで開催され106名が参加しました。実行委員長は森田智医師（鹿児島生協病院）が務め、当日の運営や事務局は近畿地協の小児科責任者会議のメンバーで行いました。慣れないオンライン開催のため運営について座長や事務局メンバーでZOOMでの打ち合わせを行い準備しました。

前半の一般演題発表は3分科会に分かれて全19演題の発表が行われ、事前に発表者が作成した発表動画を共有し、質疑応答を行いました。

後半は事業所紹介やコロナ禍での状況や各事業所の今後の方向について「各県連紹介リレートーク」という形で実施。事前に各県連・事業所が作成した紹介動画を当日共有しました。

子どもを取り巻く環境が厳しい中で、各事業所が一丸となりこの難局を乗り越えてきた経験、工夫を凝らして新しい取り組みに挑んだ事例などコロナ禍による環境変化の中にあっても子どもたちの権利や「生きる」を支える取り組みを多職種連携・地域との協同で取り組まれた多彩な事例が報告されました。各発表後の質疑においてもそれぞれの取り組みの詳細・具体的な中身について旺盛に意見交換が行われました。参加者の感想では、「コロナ禍でも患者さんとの問診のやりとりや、子育て支援が継続的に行われているのを知り、私たちも頑張っていけないといけないと思いました。」といった声が寄せられました。民医連院所としての理念や誇りを確認し、そしてこれからの活動のパワーとなった研究発表会でした。研究発表会の様子はYouTubeにて配信します。完成次第アドレスを発信します。

